

# NEWS RELEASE

【報道関係各位】



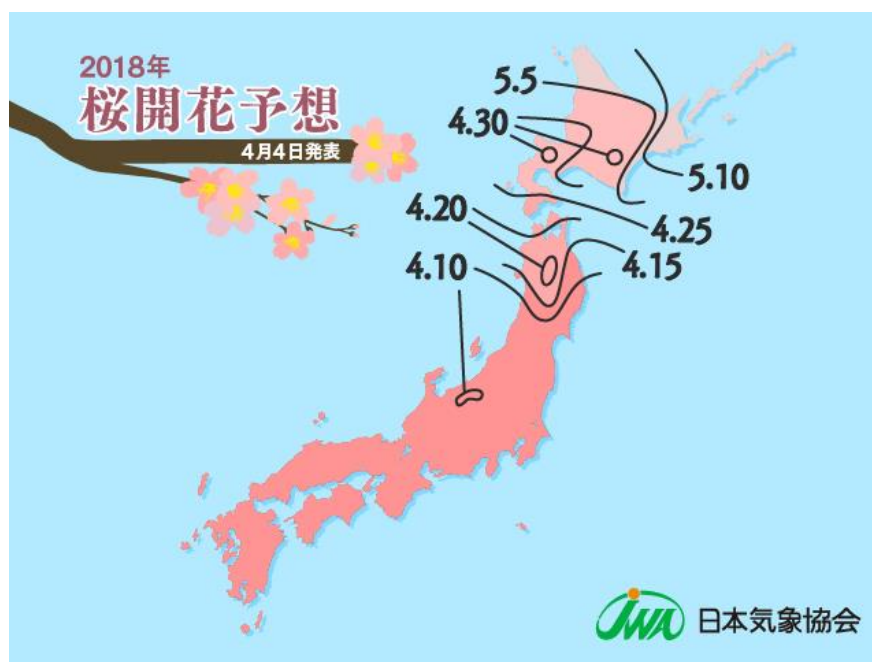
2018 年 4 月 4 日  
一般財団法人 日本気象協会

## 2018 年桜開花予想(第 7 回) ～桜前線北上中 北陸や長野県、東北南部で見ごろに！～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、日本全国 92 地点の桜（標本木〔ソメイヨシノほか〕53 地点、自治体・公園など 36 地点、および日本三大桜 3 地点）の開花予想日（第 7 回）を 2018 年 4 月 4 日（水）に発表します。

- ◆今週は北陸や長野県、東北南部が桜色に。入学式や入園式は満開の桜の中で！
- ◆桜前線は、東北北部の岩手・大船渡まで到達！
- ◆北海道では大型連休にあわせてお花見が楽しめそう

### ■2018 年桜開花予想前線図



### ■開花と満開の傾向

桜前線は、3 月 30 日に岩手・大船渡へ到達し、東北北部まで北上しています。3 月の気温が平年より高かった影響で、全国的に平年より 10 日間から 2 週間ほど早く開花したところが多くなっています。特に大船渡では平年より 15 日、仙台では 12 日早い開花となりました。今週末から来週にかけて一時的に寒気が流れ込みますが、その後は再び気温が平年より高くなると予想されています。これまでの高温でつぼみが急生長しているため、これから咲く地域でも平年より早く開花する見込みです。長野県の標高の高いところでは今週末から開花し、東北の広い範囲でも 4 月中旬には開花するでしょう。桜前線は大型連休前には津軽海峡を越え、5 月中旬にかけて北海道全域で開花する予想です。

記録的に早い満開を迎えた九州から関東では満開のピークを越えました。散り始めたところが多くなっていますが、舞い散る花びらのお花見を楽しむ声が各地から聞こえています。北陸、長野県の一部、東北南部では、平年より 10 日前後早く満開となり、見ごろを迎えています。特に仙台では、平年より 12 日早く満開となりました。平年では、開花から満開までの日数は 1 週間前後のところが多いですが、今年は 3 月下旬の気温が平年よりかなり高くなったため、この日数が短いのが特徴でした。これから満開を迎える新潟県や長野県の標高の高いところで、山形県では今週末から中旬に、東北北部では 4 月下旬に、北海道でも 5 月上旬から中旬に満開となるでしょう。



## ■日本気象協会 長期予報（気温）

| 気温  | 4月15日頃まで | 4月15日以降 | 5月      | ～桜開花予想チームのコメント～                                                          |
|-----|----------|---------|---------|--------------------------------------------------------------------------|
| 北日本 | 平年並みか低い  | 高い      | 平年並みか高い | 4月15日頃まで一時的に寒気が流れ込み、気温が平年並みか低くなるでしょう。その後は北日本で再び平年より高くなり、5月も平年並みか高い見込みです。 |
| 東日本 | 平年並みか低い  | ——（※1）  | ——（※1）  |                                                                          |
| 西日本 | ——（※1）   | ——（※1）  | ——（※1）  |                                                                          |

※1 ——：桜の開花・満開に影響しない期間

## ■2018年 桜の予想開花日・満開日（主な地点）

|     | 地点   | 予想開花日   | 平年開花日 | 昨年開花日<br>(2017年) | 予想満開日   | 平年満開日 | 昨年満開日<br>(2017年) |
|-----|------|---------|-------|------------------|---------|-------|------------------|
| 福岡県 | 福岡市  | (3月19日) | 3月23日 | 3月25日            | (3月27日) | 4月1日  | 4月5日             |
| 香川県 | 高松市  | (3月24日) | 3月28日 | 4月2日             | (3月29日) | 4月5日  | 4月8日             |
| 広島県 | 広島市  | (3月22日) | 3月27日 | 3月27日            | (3月28日) | 4月4日  | 4月7日             |
| 大阪府 | 大阪市  | (3月20日) | 3月28日 | 3月30日            | (3月26日) | 4月5日  | 4月6日             |
| 愛知県 | 名古屋市 | (3月19日) | 3月26日 | 3月28日            | (3月27日) | 4月3日  | 4月6日             |
| 東京都 | 千代田区 | (3月17日) | 3月26日 | 3月21日            | (3月24日) | 4月3日  | 4月2日             |
| 長野県 | 長野市  | (4月2日)  | 4月13日 | 4月14日            | 4月8日    | 4月17日 | 4月17日            |
| 富山県 | 富山市  | (3月27日) | 4月5日  | 4月5日             | (3月30日) | 4月10日 | 4月8日             |
| 新潟県 | 新潟市  | (4月3日)  | 4月9日  | 4月8日             | 4月8日    | 4月14日 | 4月13日            |
| 宮城県 | 仙台市  | (3月30日) | 4月11日 | 4月7日             | (4月4日)  | 4月16日 | 4月13日            |
| 北海道 | 札幌市  | 4月28日   | 5月3日  | 4月28日            | 5月2日    | 5月7日  | 5月3日             |

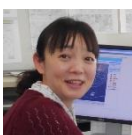
※予想開花日、予想満開日の（ ）はすでに開花や満開になった地点です。

**全92地点の桜**（標本木〔ソメイヨシノほか〕53地点、自治体・公園など36地点、日本三大桜3地点）の予想開花日・予想満開日は、日本気象協会が運営する天気予報専門メディア『[tenki.jp](https://tenki.jp)（てんきじえーびー）』桜の開花予想ページ（<https://tenki.jp/sakura/expectation/>）にて公開しています。

## ■各地の気象予報士コメント

|                                                                                     |                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>日本気象協会 九州支社（松井 渉）</p> <p>九州の桜は散りつつあるところが多くなっています。今年は、桜の見ごろを迎えてから、例年にない穏やかな晴天続きで、お花見には絶好の天気にも恵まれました。九州は6日頃に雨や風が強まることが予想され、桜の季節は終わりを迎えるところが多くなりそうです。</p>                                   |
|  | <p>日本気象協会 四国支店（川越 絵里子）</p> <p>平年より4日～7日早い開花となった今年の桜は足踏みすることなく満開へと進み、高知の満開は3月19日と歴代全国1位の早さとなりました。早い開花・満開に見ごろの短さも心配されましたが、晴天続きで満開を過ぎた後も桜の花びらが舞うのをゆっくりと楽しめています。</p>                            |
|  | <p>日本気象協会 中国支店（筒井 幸雄）</p> <p>今年の桜は天気にも恵まれて、満開の期間がいつもより長くなっています。この先は、今週末には雨や風の影響を大きく受けるため、花びらが散り満開を過ぎる見込みです。冬の厳しい寒さを越え、駆け足でやってきた桜の季節は終わりに近づくでしょう。</p>                                        |
|  | <p>日本気象協会 関西支社（真田 知世）</p> <p>今年の近畿地方の桜は、昨年より10日前後早く開花し、順調に満開を迎えました。大阪、京都、滋賀では、観測史上で最も早い満開となりました。満開のあと、一度も雨が降ることなく天気にも恵まれ、あちらこちらお花見で盛り上がっています。少しずつ葉桜になりつつありますが、散りゆく桜の花びらを楽しみながら宴は続いています。</p> |



|                                                                                     |                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <p>日本気象協会 中部支社（菅野 彰太）</p> <p>名古屋周辺の桜は散り始めていて、早くも桜シーズンが終わろうとしています。一方、飛騨高山周辺では、今週から咲き始めており、まもなく満開を迎えそうです。平野部のお花見を逃した方も、まだチャンスがありますが、お天気と相談して早め早めの計画を。</p>                |
|    | <p>日本気象協会 本社（秋田 純佳）</p> <p>今年の関東地方の桜は、開花、満開とも平年より 1 週間から 10 日ほど早くなり、開花日は東京で 3 月 17 日と観測史上 3 番目に早く、満開日は、銚子や前橋、水戸で最速記録を更新しました。散り始めた桜を名残惜しみつつ、あと数日間は楽しめそうです。</p>          |
|    | <p>日本気象協会 長野支店（瀧中 弘樹）</p> <p>最近の暖かさで、県内の桜も記録的に早い開花となっています。特に今週が開花ラッシュとなって、残すは北部山沿いのみにになりました。今週末にかけての雨が桜流しになる可能性もあるため、今日明日のうちにぜひ一度お花見を。</p>                             |
|    | <p>日本気象協会 北陸支店（瀬山 滋）</p> <p>今年の北陸 3 県の桜は平年より 5 日～9 日早く開花し、スピードを落とすことなく満開となりました。富山では開花から 3 日で満開を迎え、観測史上最も早い満開日となりました。このあとは散りゆく桜を楽しめますが、週末は寒の戻りがありますので服装に注意してください。</p>   |
|   | <p>日本気象協会 新潟支店（今井 梢）</p> <p>このところの陽気で高田公園では観測以来最も早く開花し、新潟市も平年より 6 日早い開花になりました。週末の低気圧やその後の寒の戻りでこれからのお花見が少し心配ですが、その分少し長く桜を楽しめるでしょう。</p>                                  |
|  | <p>日本気象協会 東北支社（佐藤 理恵子）</p> <p>先週の初夏のような陽気に促されて、今週は南部を中心に満開を迎えるところが多いでしょう。今週末は寒の戻りがある予想で、満開になった桜は少し長く楽しめそうです。北部のつばみは今週末の寒気の影響は受けるものの平年より早く開花するところが多いでしょう。</p>           |
|  | <p>日本気象協会 北海道支社（持田 浩）</p> <p>北海道はこれから 4 月中旬はじめ頃までは、すっかりしない天気で気温も上がりにくい日が目立ち、花芽の生長は一旦やや足踏み状態となりそうです。しかし、その後は晴れて暖かい日が多くなるため生長は順調に進み、各地の開花、満開ともに平年に比べて 5 日前後早くなるでしょう。</p> |

日本気象協会では日本全国 89 地点の桜（ソメイヨシノほか）の開花予想以外にも、「日本三大桜」と呼ばれている福島県の「三春滝桜」（みはるたきざくら：ベニシダレザクラ）、山梨県の「山高神代桜」（やまたかじんたいさくら：エドヒガンザクラ）、岐阜県の「根尾谷淡墨桜」（ねおだにうすずみざくら：エドヒガンザクラ）の開花予想を「tenki.jp」にて公開しています。

#### 【言葉の説明】

平年：1981～2010 年の平均値

開花日：標本木で 5～6 輪以上の花が咲いた状態となった最初の日（気象庁の観測基準と同じ）

満開日：標本木で 80% 以上のつばみが開いた状態となった最初の日（気象庁の観測基準と同じ）

休眠打破：前年の夏に形成され休眠に入った花芽が、冬になり一定期間の低温にさらされて目覚めること

以上